話題の人から、
『ムジカノーヴァ』読者へ宛てたメッセージ

イラスト：森シホカ

楽器から、もっともふさわしい音色を引き出す方法を試みる

5回シリーズの演奏法講座が一巡したとき、「もう1回このシリーズを！」とのお話をいただき、続編を行いましたが、さらに続きを、ということで、『続々・一歩上を目指すピアノ演奏法』となった次第です。「一歩上を目指す」と銘打っているのは、一人ひとりの受講生のみなさんにとって毎回必ず何か新しく得るものがあり、それを演奏に生かしていただけるような講座にしたいという気持ちからです。

毎回の講座では、スコアの読み方、曲の形式や分析、私なりの解釈にも触れますが、鍵盤上の指の動きをスクリーンに大写しにし、お話と演奏が一体となって、一つひとつの曲を楽しんでいただきたいと思います。楽器からもっともふさわしい音色を引き出すアプローチを試みたいと思います。

今回は、バッハ、モーツァルト、リストをとりあげます。「続々」ということで、これまでの受講生の方も数多く参加してくださると思いますが、初めての方もお気軽に参加していただけましたら幸いです。

久元祐子
Yuko Hisamoto

Profile
3歳からピアノを始めたが、本格的に練習に打ち込むようになったのは、中学生になってから。東京都立芸術高校を経て、東京藝術大学音楽学部器楽科（ピアノ専攻）に入学。同大学大学院修士課程修了。国立音楽大学准教授。近年は、ヴァルター、プレイエル、エラールなど歴史的楽器を使っての演奏会や録音にも取り組む。2010年の軽井沢八月祭（大賀ホール）では、天皇皇后両陛下ご臨席のもとプレイエルの演奏を行った。「ハイドンとモーツァルト」は毎日新聞CD選に取り上げられる。CDは「青春のモーツァルト」（KV310など）のほか、ショパン、ベートーヴェン、リストなどの作品をリリース。「モーツァルトのピアノ音楽研究」（音楽之友社）などの著書も多い。
久元祐子ウェブサイト　http://www.yuko-hisamoto.jp/

■発表会やレッスンで弾いて印象に残っている曲

ショパン《別れの曲》。高校生のとき、初めてレッスンに持って行きました。指ならしでテクニカルな中間部を弾いていたら、戻ってこられた先生が「顔を洗って出直してらっしゃい」と一言。それから本当の難所であるカンタービレのレッスンが2時間続きました。

●久元祐子 ピアノ演奏法講座
『続々・一歩上を目指すピアノ演奏法』
会場：カワイ表参道コンサートサロン「パウゼ」（東京）
時間：各回 10：30 ～ 12：30
受講料：一般¥3,000、会員¥2,500
日程：第1回 11/10（木）リストの小品、第2回 12/1（木）大バッハの「平均律」、第3回（2012年）1/19（木）リスト『巡礼の年第2年 イタリア』、第4回 2/13（月）モーツァルトのピアノ・ソナタⅠ、第5回 3/8（木）モーツァルトのピアノ・ソナタⅡ
問合せ：カワイ音楽振興会 TEL 03-5485-8511
●CD　11月7日リリース
「学習するモーツァルト」ソナタ KV.282、283、284（ALM Records 9109）
●コンサート予定
12/23「澤クァルテット＆久元祐子」セレモアコンサートホール武蔵野、（2012年）3/3「久元祐子リサイタル」新宿文化センター小ホール、3/28「東京・春・音楽祭～エラールの魅力」国立科学博物館、4/13「セレモアチャリティーコンサート」サントリーホール